

様式13

会派視察研修計画書

平成30年9月18日

碧南市議会議長 様

会派名 日本共産党碧南市会議員団

代表者名 山口春美 印

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	山口春美、岡本守正、磯貝明彦		
日時	平成30年10月10日（水）～平成30年10月12日（金）		
視察先	高知県香南市 愛媛県八幡浜市 香川県善通寺市		
研修内容	香南市：南海トラフ地震対策、住宅耐震化、同報無線デジタル化など 八幡浜市：市民病院の建替え、維持管理、医師確保など 善通寺市：まちゼミによる商店活性化、空き店舗利用について		
日程	10月10日（水）	15時～17時	
		香南市役所	
	11日（木）	13時半～15時半	
		八幡浜市役所	
	12日（金）	10時～12時	
		善通寺市役所	
交通手段	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (電車・新幹線)	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (飛行機)	<input type="checkbox"/> 自家用車

※該当するものにチェック☑してください

会派視察研修報告書

平成30年10月16日

碧南市議会議長 様

会派名 日本共産党碧南市会議員団

代表者名 山口 春美 印

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 3人 分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	山口春美 岡本守正 磯貝明彦		
日時	平成30年10月10日（水）～平成30年10月12日（金）		
視察先	高知県香南市 愛媛県八幡浜市 香川県善通寺市		
研修内容	香南市＝南海トラフに対する防災、避難タワー、耐震化、同報無線など 八幡浜市＝H29年に完成した市立八幡浜総合病院の建替えと運営について 善通寺市＝「まちゼミ」による商店活性化。空き店舗利用について		
日程	10月10日（水）	15時～17時	香南市役所
	11日（木）	13時半～15時半	八幡浜市役所
	12日（金）	10時～12時	善通寺市役所
備考			

※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

会派視察研修成果報告書

平成30年10月15日

議員氏名 山口 春美 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 平成30年10月10日（水）～平成30年10月12日（金）
- 2 視察先 高知県香南市、愛媛県八幡浜市、香川県善通寺市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

高知県香南市＝南海トラフに向けた防災対策

愛媛県八幡浜市＝市立八幡浜総合病院の建替え、維持管理

香川県善通寺市＝「まちゼミ」による商店活性化策

空き店舗利用補助制度について

香南市

香南市は面積 126 k m²、33,592 人口です。南海トラフでは約 9 m の津波被害が予想されています。

・避難道路整備は、赤道など里道や民地を無償借地して、裏山に逃げる階段斜面の道路を整備します。H24～29 で 19 カ所が完了。今後 H33 年までに 3 カ所整備の計画です。

・避難タワーは 2015 年から現在までの 3 年間で、17 期 34 億円で設置。国県補助で、財政力 0.35。全国 690 位の自治体ながら命優先をつらぬいています。

・同報系無線については、H26 年に 10 億円（半分県国補助）で日立が設置。親局、中継装置、簡易中継器、再送信子局、屋外拡声器（900m/5 基。250m/131 基。個別受信機は避難所 182 基と難聴地区 122 世帯に設置しています。

・住宅耐震化は、診断 3,000 円自己負担、設計 30.5 万円、改修 100 万円（H27～312 件）約 120 万円ほどの安価な工法で本人負担は差引 20～30 万円です。

老朽住宅除去 164.5 万円（H27～83 件）。家具転倒防止は、「高齢者限定」を H30 年度から外しました。H27～106 件に、金具、フィルム、ブレーカー、開閉防止金具に半額 1 万円上限の補助を行っています。碧南市も大いに見習うべきです

八幡浜市

八幡浜市は、面積 132 k m²、34,803 人口です。築後 50 年たった市立総合病院を H29 年に建替えました。延床 18,400 m²地上 6 階 256 床です。建物 60 億円、医療機器 16 億円のうち、耐震化補助金 17 億円、伊方原発の共生交付金 11 億円、病院事業債 24 億円、過疎債 23 億円（70%は交付金算定に）で一般財源は 1 億円のみです。佐田岬まで 1 時間かかるため、ヘリポートを設置し、日常的に搬送しています。免震槽を基礎に、6 階に 72 時間非常用発電、受水槽、熱電源を設置しています。17 診療科に、医師 25 名看護師 140 名など 225 名。他に 116 人の臨時看護師などがいます。近くには医師住宅のマンションを建設、今後看護師宿舎の建設も計画しています。3 万人人口の市でも、頑張っているのだから、碧南市も医師看護師との意思疎通など、いい病院にすることは可能です。

善通寺市

善通寺市は、面積約 40 k m²、32,824 人口です。法人税率は 12・1 均等割とも超過課税で約 4000 万円得ています。

「まちゼミ」は、岡崎市の松井洋一郎さんが全国 250 カ所で推奨している商店活性化対策です。元市職員 OB の商工会議所専務から説明を受けました。平成 27 年に「これはいい」と実施を計画。松井さんを講師に 3 回の学習会を行い(株)支援センター（経済産業省）から、交通費を含む講師派遣の費用をもらい実施。H27/32 講座で参加者 274 人、H28/40 講座で参加者 408 人、H29/35 講座で参加者 283 人、H30 には 11 月 1 日から 11 月 30 日まで 33 講座が計画されています。店主が講師となり、着付け、自転車の日常点検、私の歌をつくりましょう、網戸の張り方、ピザづくりなど、どれも参加してみたい魅力ある「ゼミ」です。統一ビラは、1 区画 5 千円。4～5 名の定員で、気軽に行うそうです。専門性と、人とのふれあいで商売に自信と誇りをもち、顧客へとつながっています。空き店舗利用は、市産業振興部の補助制度で、月 5 万円を 2 年間。改装費 50 万円限度 2 分の 1 補助です。平成 15 年度から 29 年度までで 72 件の認定。うち 50 件が改装補助を行いました。昼食は、昨年開店した焼肉店で、若いイケメン店主が、やさしく対応していました。碧南市は、どうなっているのでしょうか？たった 1 件とは・・・

会派視察研修成果報告書

平成30年10月15日

議員氏名 磯貝 明彦 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 平成30年10月10日（水）～平成30年10月12日（金）
- 2 視察先 高知県香南市、愛媛県八幡浜市、香川県善通寺市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

10日 高知県香南市

香南市は、高知市から東へ21kmの位置にあり、市域面積126.5km²、人口約33,000人で平成の大合併で合併されて13年目になる市である。農業が主であり、ニラの耕作面積は日本一である。

香南市は南海トラフ地震で約9mの津波被害が想定されており、対策として、避難道と津波避難タワーの整備が進められている。

避難道は赤道である里道を対象に、徒歩による避難を原則とした概ね1.5m以下の歩道及び付帯設備と定義している。避難道の中には一部民地を無償提供してもらい、その代わりに固定資産税減免をしている。避難道には南海トラフ地震による津波浸水想定範囲に含まれていない高台への津波避難道と集落孤立地区から避難するための集落孤立対策避難道の2種類を整備している。平成24～29年度で津波避難道19か所、集落孤立避難道1か所が完成している。今後、平成30～33年度までに津波避難道3か所が整備予定されている。

津波避難タワーは、平成27～30年の3年間で香南市整備15基、高知県整備2基の計17基が完成しており、収容避難人数は4,661人である。総額34億4,800万円で国県補助で整備、市負担はゼロである。本体構造は鉄筋コンクリート造の3階建て、階段・スロープ部は鉄骨造である。今後、香南市整備4基、高知県整備1基が整備予定されている。現地視察を1か所させてもらったが、タワーから見ると市街地のあちこちにタワーが見えた。碧南市は最低でも川口、前浜の海拔0m地帯には避難タワーが必要と実感した。

同報系防災行政無線の整備は、親局5か所の他、香南市は山間部もあるので、中継局1か所、簡易中継局1か所、再送信局5か所を整備している。屋外拡声器は大型5か所、その他131か所に設置。個別受信機は避難所施設182か所、避難地区世帯122か所に設置。平成27年12月から運用している。整備費用は10億円で国補助は1/2である。

住宅耐震化促進事業は、診断費用自己負担は3,000円、耐震設計費用は上限30.5万円

補助、耐震改修費用は上限 100 万円補助をしている。

その他、ブロック塀対策支援として上限 20.5 万円補助、老朽住宅除去対策として上限 164.5 万円補助、家具転倒防止器具購入費として上限 1 万円補助をしている。

11 日 愛媛県八幡浜市

八幡浜市は、市域面積 132k m²、人口約 34,000 人である。築 50 年たった市立病院を診療しながら 4 年間かけて平成 29 年に建替を完成した。延床 18,400 m²、地上 6 階(RC 造)、基礎免震構造、256 床の病院。屋上にはヘリポートを設置し、日常的に搬送を行っている。津波被害を想定し、6 階に 72 時間使える非常発電機を設置。費用は建築費 60 億円、医療機器 16 億円で総事業費 76 億円。財源内訳としては、耐震化補助金 17 億円、共生交付金 11 億円、病院事業債 24 億円、過疎債 23 億円であり、一般財源は 1 億円のみである。

17 診療科に医師 25 人、看護師 140 人など総勢 225 人の病院である。医師確保には積極的に民間アパート(4LDK)を 26 戸を用意しており、最近では自力で医師住宅を建設するなど家族で移住してもらうようにしている。看護師確保については、修学資金貸与制度や採用試験の時期複数化、職員住宅(1DK12戸)を平成 31 年度に建設する。

碧南市民病院は病棟改修が始まるが、施設だけではなく、医師、看護師確保に本気モードを出していくべきではないか。

12 日 香川県善通寺市

善通寺市は、市域面積 40k m²、人口約 32,000 人。弘法大使・空海の生誕の地であり、空海のお父さんの名前が佐伯善通(よしみち)ということで「善通寺」という名前の寺を建立した。この寺の名前にちなんで善通寺市という名前の由来がある。

善通寺市では「善通寺まちゼミ」と称して、まちゼミの会・商工会議所とが主催し、市・教育委員会・㈱まんてがんとという国交省推奨 DMO のまちづくり会社が協力している。善通寺市には商店組合はなく、商工会議所が中心となって商店の衰退をくい止めるための施策として「まちゼミ」で商店の活性化に取り組んでいる。平成 27 年から「まちゼミ」を行っており、実績として平成 27 年参加店舗 26、32 講座、平成 28 年参加店舗 32、40 講座、平成 29 年参加店舗 32、35 講座で毎回 300 人弱の参加人数を維持している。講座の内容としては「学ぶ」「つくる」「健康」「きれい」「食べる」と多彩で、どれも参加してみたい魅力ある講座である。今年も 11 月に参加店舗 34、33 講座が予定されている。今年のチラシをみると銀行が参加店舗として講座を開く予定になっており、驚いた。講座参加者のアンケート結果をみると「大満足」「満足」を合わせると約 9 割にもなる。参加店舗も事業継続を支持しているという。市と商工会議所は「まちゼミ」事業を 10 年継続を目標にしており、「まちゼミ」により各商店の新しい顧客が増えて善通寺市全体の商店の活性化が生まれればよいと考えている。

善通寺市では「中心市街地空き店舗活用支援事業」を行っている。平成の時代に入ると、大型店舗が郊外に立地し、徐々に中心市街地が寂れてきた。平成 12 年に中心市街地活性化基本計画が策定され、平成 15 年度から「空き店舗活用支援事業」が開始された。閉店して 3 カ月経過した店舗を対象にして、「賃借料支援事業」として月額 5 万円を限度で 2 年間補助、また、「改装費、広告宣伝支援事業」として 50 万円を限度で補助している。平成 15 年度から平成 29 年度までで 72 件の認定、50 件の改装という実績である。昼食は昨年開店した焼肉店で視察を兼ねて食事をした。店主は脱サラして開業した若者でした。

視察研修成果報告書

平成30年10月16日

議員氏名 岡本守正 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 平成30年 10月10日（水）～12日（金）
- 2 視察先 高知県香南市人口33,592人 愛媛県八幡浜市人口34,803人
香川県善通寺市人口32,824人
- 3 視察の種類 会派視察 日本共産党碧南市議員団
- 4 視察の成果等

10日（水） 香南市

香南市の南海トラフ巨大地震の対策について、

1、津波の高さは10mを予想されている。そのため津波浸水想定範囲以上の高台に徒歩で避難する。津波避難道幅2.7m～0.91m19路線が出来ているため、今後、3路線になると予定されている。

（1）平成27年11月、集落孤立対策避難道の1路線幅1.5mが完成した。

（2）避難路では、徒歩による避難を原則としているので概ね1.5m以下の復員であることとする。

（3）避難道は、主に通過可能部分、手摺、その他の付帯施設については、土地所有者と市との間で「土地使用貸借契約書」を締結し、その面積は香南市税条例により固定資産税の減免対象となる。

香南市に来るまでは、津波避難道について認識がなかった。

2、津波避難タワーは、鉄筋コンクリート造り・3階建16棟（一部鉄骨造り）、4階建1棟、総収容人数4,661人であった。津波避難タワーは大規模であるため、建設費34億円は国、県下が出した。

災害時には碧南市の川口町、前浜町には特に災害時に移動困難者の避難タワーが必要である。

3、住宅耐震化等補助制度について、

（1）住宅耐震改修はこれまで312件が行われ、改修費は上限100万円であった。現在設計・改修にかかる費用は120万ほどなので、多くの方は20万～30万円自己負担となる。

- (2)住宅耐震にかかる啓発は、年一回広報で補助制度紹介、自主防災組織で周知。
- (3)H29年度は耐震診断後設計・工事をしていない38件を訪問し耐震化を進めた。
- (4)市のまつり等でチラシ配布。

4、香南市同報系防災行政無線について

町村合併に伴い市内全域の同報系防災行政無線の再整備において無線方式のデジタル化を行った。

親設備—中継局（1箇所）—簡易中継局（1箇所）—再送信子局—屋外拡声子局（大型拡声町装置5局・拡声子局131局—個別受信機（避難所施設等182箇所・難聴地区世帯122箇所）

同報無線を全市民に聞こえるように努力されていました。

11日（木） 八幡浜市

市立八幡浜総合病院について

市立八幡浜総合病院は総事業費約76億円である。その内訳は[建築費 約60億円、医療機器等 約16億円] 財源内訳は[耐震化補助金約17億円、共生交付金等約11億円、病院事業債約24億、過疎債23億円、一般財源約1億円]で2015年5月～2017年3月22日に全体が完成した。

病院の規模としては、診療科目17診療科のうち医師29名、看護師140名、臨時116名、許可病床数 一般254床 感染症2床である。医師は愛媛大学と広島大学にお願いしてみえた。

各指定状況として原子爆弾被爆者は一般疾患医療取扱病院となっている。私考ですが、この現状において広島大学から医師が派遣されていることと、伊方原発の2つが関係していると考えられる。

病院建設にあたり、病院事業債だけでなく、他の補助金等も含まれていることがわかった。

12日（金） 善通寺市

「まちゼミ」による商店活性化・空き店舗利用について

(1)「まちゼミ」は各商店の専門性を活かし、店主が講師となり「まちゼミ」を開き、市民の皆さんと仲良くなる集まりである。「まちゼミ」は、商店活性化対策として岡崎市の松井洋一郎さんが全国250所で訴えている。松井さんを講師として三回お招きし、「善通寺まちゼミ」をH27年は32講座開講し、参加者は274人。H28年は40講座開講し、参加者は408人。H29年は35講座開講し、参加者は283人。H30年は11月1日～30日の間で33講座の開講が計画されている。店主が講師となり、麴から甘酒を簡単に作る方法、写真の撮り方、上手な映り方、着付け、自転車の日常点検、ピザの作り方、金網の張り方等がある。「善通寺まちゼミ」全紙大のポスターで宣伝をしていた。

(2) 空き店舗の利用は善通寺市産業振興部の補助金制度で、2年間月5万円の借地料補助、改装費では最大50万円のうち2分の1補助となる。平成15年度から29年度までに72件の認定、そのうち50件が改装補助を行った。

碧南市では、過去十数年で市の補助を受けた結果空き店舗の利用は1件である。空き店舗の利用施策が遅れている。